

お客様各位

朝日産業株式会社

製品評価技術基盤機構(NITE)の最終報告について

はじめに 新型コロナウイルスに罹患された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。また、医療現場の最前線で日夜尽力されている全ての医療関係者に心より感謝申し上げます。

さて、6月26日、製品評価技術基盤機構(以下 NITE と記載)より、新型コロナウイルスに対する次亜塩素酸水溶液の有効性最終評価報告及び、厚生労働省・経済産業省・消費者庁より「次亜塩素酸水溶液」を使ったモノのウイルス対策をする場合の注意事項が発表されました。その内容と弊社の見解を下記にお示しいたします。

記

1. NITE での最終報告について

NITE は次亜塩素酸水(電解型・非電解型)による新型コロナウイルスに対する有効性評価について、有効塩素濃度 3 5 ppm 以上・pH 6.5 以下で99.9%以上の感染価減少があり、有効であったとのことです。

※最終報告原文(P.32)より抜粋

検証対象とした次亜塩素酸水(pH6.5 以下)について有効塩素濃度 35ppm 以上の条件で有効と判断する。有効とされた条件の次亜塩素酸水を適切に使用することで、新型コロナウイルスの除去が期待できる。次亜塩素酸水の特長や今回の検証結果を鑑み、次亜塩素酸のウイルス不活化に効果的な使用方法を下記に記載する。

- ・汚れ(有機物:手垢、油脂等)をあらかじめ除去する。
- ・対象物に対して十分な量を使用すること。

参考 <https://www.nite.go.jp/information/osirase20200626.html>

2. 厚生労働省、経済産業省、消費者庁の発表内容について

- ・流水でかけ流す場合、有効塩素濃度 3 5 ppm 以上のものを使用
- ・拭き掃除には有効塩素濃度 8 0 ppm 以上のものを使用

参考 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

3. 弊社の見解

次亜塩素酸水サニーエース(非電解型:製法 混和型)は原液の有効塩素濃度 200ppm、pH6.5 であり高い有用性が示されました。拭き掃除には 100ppm(水道水で 2 倍希釈)を目安にご使用ください。

※有効塩素濃度は製造後徐々に低下しますので、確実に有用とされる濃度でご使用ください。

※汚れがひどい場合は、原液(200ppm)でご使用ください。

4. その他

今回の報道に対して、「消費期限や有効塩素濃度不記載の製品が市場に出回っている事が問題」となっております。弊社製品サニーエースのように、消費期限や有効塩素濃度が記載されているかご確認下さい。

最後に新型コロナウイルスとの闘いは今もなお続いています。特に「接触感染」の分野において次亜塩素酸水の役割と使命を改めて確認し、全力を尽くす所存でございます。

以上